

## Top Message

「存在感と魅力ある企業」、  
「社会的責任を全うする企業」の実現を  
図ってまいります



[Photo:エクシーガ2.0GT]

本書に関心をお持ちいただきました皆さまに感謝を申し上げます。

さて、今年は京都議定書の約束期間初年度であり、また地球温暖化問題が主たるテーマとなったG8サミットが北海道洞爺湖において開催されました。このように地球規模で持続可能な社会の実現に向けた取り組みが本格化するなか、スバルグループにおきましても、ますます重要性の高まる地球温暖化防止をはじめとする、あらゆる環境問題に対する取り組みを強化、推進しております。

当社では、環境活動をCSR活動の最重要項目として認識するとともに、これらの社会問題に対処することが「企業市民」として当社が果たすべき使命と考え、スバルグループ全体での取り組みを進めております。

具体的には、2007年度から新たにスタートした「第4次環境保全自主取り組み計画」のもとに、地球温暖化防止・省エネルギー、廃棄物や環境負荷物質の削減などにグループをあげて取り組み、また環境対応商品として燃費、排出ガス性能を大幅に改善した新型インプレッサ、新型フォレスターを発売、また乗用車用として世界初となる水平対向ディーゼルエンジンを搭載したレガシイを欧州市場に投入しました。

今後もクルマを中心とした総合輸送機器メーカーとして、地球温暖化防止やそのための低炭素社会実現等さまざまな社会問題に対して商品開発から生産、物流、販売、自動車リサイクルに至る事業活動のあらゆる段階を通じてこれまで以上の積極的な取り組みにより貢献してまいります。

また、このようなさまざまな取り組みを推進するために企業基盤をさらに強固なものとするべく、新中期経営計画を推進しているところですが、その達成をより確かなものとするための施策として、トヨタグループとの新たな協業とこれを活用した

国内での完成車組立工場の新設、国内スバル販売網の再編などの事業構造の改革を公表いたしました。

この事業構造改革により、開発工数、生産能力などの経営資源を効率的に収益性の高いコア分野や将来の環境技術開発に傾斜配分するとともに、お客さま満足度の向上を図ることによりスバルブランドを強化し、「存在感と魅力ある企業」、「社会的責任を全うする企業」の実現を図ってまいります。

これらの事業構造改革におきましても、「第4次環境保全自主取り組み計画」の目標達成を目指し、これまで以上に取り組んでまいり所存です。

2008社会・環境報告書を通じて、スバルグループの社会や環境に対する取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をちょうだいできれば幸甚でございます。

代表取締役社長

森 郁夫



# Introduction of SUBARU

## 独創的な先進技術で、時代ニーズに対応した 商品を開発・製造

富士重工業株式会社は、スバル[SUBARU]ブランドのもと、総合輸送機器メーカーとして4つの事業部門を展開しています。「スバルオートモーティブビジネス」「航空宇宙カンパニー」「産業機器カンパニー」「エコテクノロジーカンパニー」。その独創的な先進技術と個性により、快適で楽しい未来の創造に貢献します。

■「すべてはお客さまのために」という姿勢で商品を提供

### スバルオートモーティブビジネス



所在地	群馬製作所(群馬県太田市) 東京事業所(東京都三鷹市)
-----	--------------------------------

スバルは1958年に「スバル360」の発売で自動車メーカーとしてスタートを切った以来、日本の自動車産業の発展に寄与する個性的なクルマを送り出してきました。たとえば、「スバル360」は、航空機づくりのアイデアをふんだんに採り入れた精緻なパッケージング、徹底した軽量化に斬新な技術的特長がありました。1966年に発売した「スバル1000」は、スバルの個性ともいえる水平対向エンジンを搭載。量産車として先駆けとなる前輪駆動（FF）レイアウトを採用しました。

1972年、世界初の乗用四輪駆動車を発売。以後スバルは、このレイアウトを「シムメトリカルAWD\*1システム」として確立してきました。1990年代以降、日本ではハイパワーターボエンジンと四輪駆動を組み合わせた高性能ステーションワゴン、米国では乗用車の快適性とSUVの機能性を融合させた「クロスオーバー」\*2という分野を切り開いてきました。

スバルは、「ドライバーズカー」として快適で楽しい走りを約束するクルマの開発を続けてきたのです。

エクシーガは、「7シーター パノラマ ツーリング」がコンセプト。乗る人すべてが、会話や景色、ツーリングすることの楽しさを共有でき、安心してくつろげる快適な移動空間を持つ多人数乗り車です。スバルがこれまで培ってきたワゴンづくりのノウハウを活かし、7人までしっかり乗れる高い居住性と開放感あふれる室内空間を実現。スバル独自の水平対向エンジンレイアウトや、SI-シャーシ（SUBARU Intelligent-Chassis）コンセプトによる高い操縦安定性、優れた静粛性、しなやかで上質な乗り心地などあわせ、環境性能や経済性にも配慮し、多人数乗り車の新しい価値を提案しています。

[Photo:エクシーガ2.0i-L]

Automotive  
Business



#### 国内関係会社

**富士機械株式会社**(群馬県前橋市)  
事業内容:自動車部品・産業機械・農業用トランスミッションの製造、販売

**株式会社イチタン**(群馬県太田市)  
事業内容:自動車・産業機械用鍛造品の製造、販売

**桐生工業株式会社**(群馬県桐生市)  
事業内容:スバル特装車の製造・スバル用部品の物流管理・スバルエンジン、トランスミッション等の再生

**株式会社スバルロジスティクス**(群馬県太田市)  
事業内容:自動車およびその部品の梱包、出荷、陸送業、倉庫業、整備業、保険代理店業

#### 海外関係会社

**SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.**  
スバル オブ インディアナ オートモーティブ インク  
(インディアナ州ラファイエット)  
事業内容:米国におけるスバル車の製造、トヨタ車の受託生産

**SOA: Subaru of America, Inc.**  
スバル アメリカ インク  
(ニュージャージー州チェリーヒル)  
事業内容:米国におけるスバル車および部品の販売、整備

**SCI: Subaru Canada, Inc.**  
スバル カナダ インク  
(オンタリオ州ミシサーガ)  
事業内容:カナダにおけるスバル車および部品の販売、整備

**SRD: Subaru Research & Development, Inc.**  
スバル リサーチ アンド デベロップメント  
(ミシガン州アンナーバー)  
事業内容:北米市場におけるスバル車の研究開発

1917年に創設された航空機メーカー「中島飛行機」。航空宇宙カンパニーはその航空機づくりの技術とスピリットを受け継ぎ、主翼などの複合材を含む航空機構造体の開発技術や、無人機分野でのIT技術、飛行制御技術を融合した高度システムインテグレーション技術など、さまざまなカテゴリーでナンバーワン技術を確立しています。その技術を応用し、ヘリコプター、固定翼機、無人機の開発・生産を行っています。

さらに、大型旅客機や小型ジェット機の開発・生産にも参画。世界レベルでの発展を目指して、新たな分野に積極的に挑戦しています。

## ■航空機づくりの技術とスピリットを今に活かす 航空宇宙カンパニー

所在地 宇都宮製作所(栃木県宇都宮市)  
半田工場(愛知県半田市)

Aerospace  
Company

Industrial  
Products  
Company

Eco  
Technologies  
Company



「エア・タクシー」と呼ばれる新しい輸送需要を担う低価格の小型ビジネスジェット機として注目される「エクリプス500」。当社は最新の製造技術を活かしてその主翼の組み立て等を担当、航空機の大量・低コスト生産技術の確立を目指しています。

[Photo:エクリプス500]

### 国内関係会社

輸送機工業株式会社(愛知県半田市)  
事業内容:航空機部品の製造、販売

## ■地球のあらゆる場所で使われる 汎用エンジンを量産

## 産業機器カンパニー

所在地 埼玉製作所(埼玉県北本市)

産業機器カンパニーでは、「ロビン」ブランドの汎用エンジンとロビンエンジンを搭載した商品を開発・生産・販売しています。ロビンエンジンは2,000種類以上の豊富なラインアップでお客さまのニーズに応え、社会の基盤をつくる建設機械や農業機械をはじめ、豊かな生活を彩るレジャー機器、発電機など、世界中で愛用されています。酷暑、極寒、砂漠、水上など地球上のあらゆる場所、使用条件で安定的に働き続けるため、性能向上に努めています。



EX35-40エンジンはチェーン駆動のOHC動弁機構の採用により、優れた環境性能と高性能を高次元でバランスした汎用エンジンです。OHCならではの高出力燃焼室設計により、環境にやさしい低排出ガス性能、低燃費、低騒音や優れた始動性と、クラス最高レベルの出力性能を実現する次世代エンジンとして販売を開始しました。

[Photo:EX40エンジン]

### 海外関係会社

RMI : Robin Manufacturing U.S.A.,Inc.

ロビン マニュファクチャリングUSA インク  
(ウィスコンシン州ハドソン)

事業内容:米国における汎用・四輪バギー・ゴルフカート用のエンジンの製造、販売

## ■住みよい環境と資源循環型社会に貢献する

## エコテクノロジーカンパニー、他

所在地 宇都宮製作所(栃木県宇都宮市)

エコテクノロジーカンパニーは、廃棄物の収集運搬やリサイクル処理のための各種車両・装置など、住みよい環境と資源循環型社会に貢献する多様な製品を手がけています。またクリーンなエネルギーを生み出す風力発電システムを開発し、製品を通じて地球環境保全に取り組んでいます。

### 〈クリーンロボット部門〉

世界で初めて実用化した高層ビル無人清掃ロボットの技術は、屋外型清掃ロボットやごみ搬送ロボットの実証実験に応用されています。



塵芥車のグローバルスタンダードを目指して、当社と新明和工業が共同で次世代型新型回転板式塵芥車「G-RX」を開発しました。無駄な余肉をそぎ落とし軽量化させるとともに、油圧配管の圧損低減、低騒音化、環境負荷物質削減等を図り、従来の塵芥車に比べ環境性能を大幅に向上させています。

[Photo:フジマイティ G-RXシリーズ]

※1 AWD : All Wheel Drive 4輪駆動

※2 クロスオーバー:1995年8月ステーションワゴンにSUVの機能性を融合させたスバルアウトバックを発売。